

平成 29 度 第 2 回 学校協議会

平成 29 年 11 月 27 日(月)、本校校長室において、第 2 回の学校協議会を開催しました。公務の関係で、加堂恵二委員、中谷健二委員、西田彦次委員が欠席、後藤るみな委員が代理出席となりました。学校側からは、校長、教頭、事務長、各分掌長が出席しました。

今回の協議会では、授業見学をしていただいた後、分掌等の取り組みの進捗状況や S G H について説明し、本校の課題や豊中高校能勢分校の開校に向けて、議論していくものとなりました。

内容

1. 授業見学 14:25～15:15

委員の皆さまに 6 限の授業を見学していただきました。

2. 協議会 15:30～17:00

① 学校長挨拶

② 委員紹介・事務局員自己紹介

③ 協議事項

- ・ 授業見学について
- ・ 授業アンケートについて
- ・ 分掌等の取り組み計画の進捗について
- ・ S G H について
- ・ 本校の課題について
- ・ その他

④ 連絡

- ・ 次回第 3 回の開催を 3 月上旬に予定

3. 委員からの意見等

【授業見学について】

- 1 年生が比較的の前向きに受けている。人数が少ない授業で、子どもたちもしっかりと話を聞けるし質問もしやすい。先生も一人一人を把握しようとしている。
- プリントでの授業が多かったが、4 割ほどの生徒が頭を使ってという感じではなく、板書を写しているだけになっている。教科書を活用できていないように感じる。
- 家でのどれだけ予習をするかが重要だ。予習復習の時間が少ないことは様々な所で課題として挙げられているが、授業を面白く感じさせるためにも必要だと感じる。
- アクティブラーニングが主流になってきている中で、グループワークに参加させても時間だけ過ごす生徒もいる。グループワークは、準備してから参加させると一層効果があると思う。考えさせる場面ももっと必要なのではないかと感じた。

【授業アンケートについて】

- 2 年生が中だるみだが 3 年生はすごく伸びている。学校としてはどのように分析し

ているのか。年によって学年のムードも違うと思うが、3年生で上がるのは進路や行事があるからなのか、原因は何かを知る必要がある。改善のために分析をして必要な取り組みをしていかなければならない。

【分掌の取り組みについて】

- 各学年が計画を立てていてとても良い。進捗状況に関して教員同士で見られるようにしているのか。せつかくよく書かれているのだから各分野で確認していくべき。
- 3年生のリーダーシップに関しては、役割を与えられたときの達成感もあるだろう。2年生に対しても、生徒会などを中心に子供たちが自分たちで動ける仕掛けがあれば、やりがいを感じて充実感も得られるのかもれない。
- 子ども同士の声掛けがあると生活自体が変わり、お互いを高めあえるし勉強にも集中できる。学校の雰囲気を変えることによって、自分の進路実現についても良い方向に働くのでは。

【SGHについて】

- 地域の連携をもっと具体的に明確化していかないといけない。世代下の子たちからすると英語は授業などに入ってきているのだから、英語を使って幼稚園・小学校・中学校に行って何かをする等も、おもしろいかもしれない。
- 中学校からしてもSGHは魅力的で進学を考えている生徒もいるので、ぜひ続けてほしい。分校に対する進め方についても、早め早めに計画を打ち出して、能勢高校頑張っているなど思ってもらいたい。
- この取り組みでどれだけ生徒たちが変容したかということを見てほしいところである。中学校から送り出した身としても、変容を感じる。

【学校の課題について】

- 能勢高校の良さや、豊中高校との連携の中でこういうことが出来るようになったといった分校になるメリットを見せてあげてほしい。
- 豊中高校の生徒が能勢に来て、能勢でしか味わえない体験やここでしかできない活動をすることもできる。それを町として、地域として支援・連携できればと思う。